



問

伊王野駐在所から東陽中学校までの歩道に段差が生じていて、転びそうになった人が多数います。また、国道294号はスピードを出している車や大型トラックが多く、その風圧で転びそうになり恐怖を感じます。これらを改善するか考えを聞かせていただけますか。

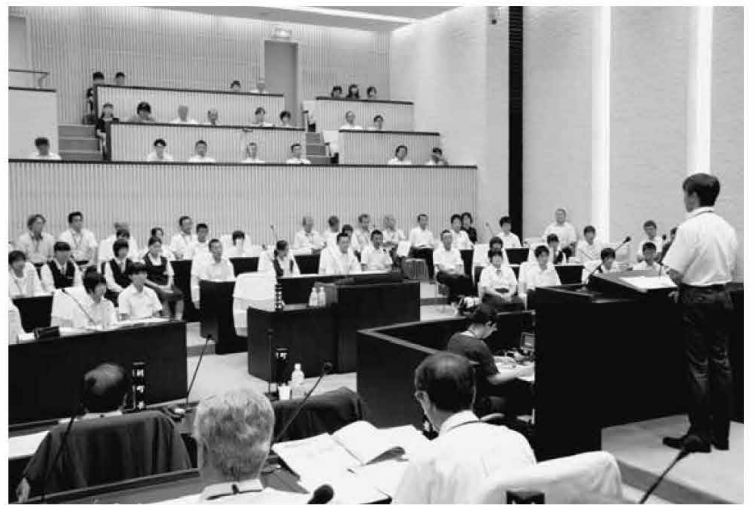
建設課長 ご質問の国道294号は、伊王野地内稲沢集落から芦野地内明神集落を通過する道路です。この道路は、国道の名称がついておりますが、栃木県が管理する道路です。先ほどの県道と同様、町が直接整備できません。町としては、通学路の安全確保が優先課題と認識しており、歩道の段差解消や通過車両の減速対策を県の土木事務所や警察署と協議しながら検討してまいります。

高久中学校閉校後の校舎の扱いと通学手段について

植松 昌也議員(高久中)
佐々木祥大議員(高久中)

問

高久中学校の校舎は閉校後どのように扱われるのですか。



ようか。私たちや同窓会の方々とっては思い出の学舎であり、具体的な考えを伺いたいです。改修して高久小学校の校舎として利用するなど、有効に利用してほしいです。また、閉校後高久中学校区に住んでいる中学生の通学手段としてのスクールバスは、休日や長期休業中の部活動の際も利用可能でしょうか。

学校教育課長 閉校となる高久中学校は、地域住民にとって長年慣れ親しんだ地域のシンボリックな存在であり、愛着のある場所です。また、町にとっても貴重な財産で

あることから、地域住民の要望等を考慮し、高久小学校の校舎としての利用も含め、幅広い視点で有効活用ができるよう、現在、その利用方法について検討しているところです。

また、スクールバスについては、生徒の安心安全を図るため2台のバスで運行を予定しています。平日の部活動終了後の運行はもちろん、休日や長期休業中も日時を指定した上で運行を予定しています。統廃合により不都合が生じないよう努めてまいります。

スポーツの活性化について

大森龍之介議員(那須中)

問

平成25年度那須地区春季体育大会の団体競技において、那須町の中学校は、男女合わせて31種目のうち3種目しか県大会に出場していません。一生懸命活動しても多くの生徒が悔しい思いをしていてとても残念です。小学校の段階から競技に親しむような土壌を作ることが必要だと思えます。何かお考えはありますか。

生涯学習課長 町では、町民の皆さんが健康で活気にあふれ、いきがいのある生活が送れるよう、子どもから高齢者まで気軽に参加できる「生涯スポーツの推進」を図っています。中学校では、県大会

等への出場を部活動の大きな目標のひとつにしていると思えますが、大きな目標に向かって頑張ることは、とても素晴らしいことです。小学校の段階から支援できないかということですが、町では、小学生を対象とした陸上教室や水泳教室などを毎年実施しております。さらに今後は、それ以外の種目についてもスポーツ教室の開催を検討していきたいと思えます。

各種スポーツ大会において、よい結果を残すことも大切なことです。少年期にはいろいろなスポーツを楽しみながら、生涯続けられる種目を見つけ出すことも必要なことではないかと思えます。

議会を体験して

約2時間にわたる中学生議会を終え、生徒を代表して大嶽和氣さん(黒田原中学校)が「議会という神聖な場で意見を発表でき、そのために那須町について調べ考えたことは大変貴重な経験となりました」とあいさつしました。高久町長は「皆さんの今の気持ちを忘れないで、今後も政治、行政に高い関心を持ってほしいと思います」と述べました。

▼問合せ 学校教育課

☎76922